

道に増税消費なき限際

政府検討会議 15年までに10%

政府の「社会保障改革に関する集中検討会議」（議長・菅直人首相）は2日、「社会保障改革案」を決定し、消費税率を2015年までに2段階で10%に引き上げることを打ち出しました。今年度内に法制化するとしています。

「改革案」は「将来的には、社会保障給付にかかる公費全体について、消費税収を主たる財源」とすると明記。年金、医療、介護に少子化対策を加えて「社会保障4経費」とし、基本的に消費税でまかなうとしました。社会保障費を理由に際限のない消費税増税の道に踏み込むもので

す。集中検討会議が同日発表した試算によれば、25年の社会保障の公費負担は61・3兆円で、全額消費税でまかなうとすれば税率は25%近くになります。

民主党政権は、「連立政権合意」（09年9月）で4年間は消費税を上げないとしていました。与謝野馨担当相は会議後の会見で「13年9月までは、法律はつくっても税が上がることはない」とのべました。

「改革案」は社会保障について、「自立・自助を国民相互の共助・連帯」で支えるのが「基本」と強調。

消費税増税を社会保障制度の「安定・強化」につなげるとしながら、年金支給開始年齢の引き上げや医療費の自己負担引き上げ、保育への民間参入促進など、社会保障給付削減と国の役割の大幅後退の方向を示しています。

解説

社会保障「改革」案

とりつくり躍起

政府が「集中検討会議」に提示した「社会保障改革案」は、「社会保障機能強化」というみせかけとは裏腹に、際限のない消費税増税と社会保障切り捨てを同時に押し付ける国民大負担増計画となっています。

特に、将来的に社会保障にかかる「公費全体について、消費税収を主たる財源」にすると明記したことは重大です。政府試算では2015年度に社会保障にかかる公費（国・地方）は47・4兆円。消費税を10%に上げても25兆円程度の税収にしかならず、22兆円強の不足です。これでは国民はとめどない消費税増税と社会保障削減という二重苦に追い込まれることとなります。

低所得の人ほど負担率の重い消費税を主財源に据えることは、「能力に応じて負担し必要に応じて給付する」という社会保障の原則を根こそぎ破壊し、貧困と格差をいっそう拡大させる政策です。

そのため「改革」案は、社会保障削減の方向を隠し、とりつくり躍起になっています。

そのことは、患者負担に上限を設ける高額療養費制度の拡充、低年金者への加算など、国民の要求を一定反映した施策に表れています。しかしそれらも外来患者の窓口負担に1000円の定額負担上乘せ、一定所得以上の高齢者の年金額削減などの切り捨て策と抱き合わせです。「低所得者対策の強化」をいうそばから、生活保護改悪のたくらみを盛り込むという、欺まんのなものです。

「改革」案は、消費税増税を合理化するために社会保障の「機能強化」を強調。15年度の公費負担は2・7兆円増になると説明しました。しかしこの計算もごまかしです。

国民への負担増・給付減による「効率化」額には、生活保護の改悪、「マクロ経済スライド」強化による年金額削減など

東北地方・太平洋沖地震への救援募金に「協力」を
日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。
【郵便振替口座】
0017017198422
名義は、日本共産党中央員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願いします。

磯城郡日本共産党議員団

の重要項目が含まれていません。15年度以降の実施検討を明示した年金の支給年齢引き上げ（68〜70歳に）では1・5兆〜2・5兆円もの公費が削減されません。

民主党政権が自公政権と同じ消費税増税・社会保障切り捨て路線に行き着く根底には、財界いいなり政治と決別できない弱点があります。労働者を犠牲にしたリストラや過大な減税の恩恵で富をため込む大企業と大資産家に応分の負担を求めるべきです。それによって社会保障を拡充する方向でこそ、国民の不安を解消できます。（杉本恒如）

社会保障案

【医療】

- ・70〜74歳の窓口負担 1割 2割
- ・受診時の定額負担導入、その規模に応じた高額療養費の拡充
- ・市販品類似医薬品の患者負担引き上げ

- ・診療報酬見直しによる入院日数短縮、外来受診の抑制

【介護】

- ・要介護認定者数の削減

【年金】

- ・支給開始年齢引き上げ 65歳 68〜70歳
- ・物価下落時のマクロ経済スライドによる年金額引き下げ
- ・年収1千万円以上の人の基礎年金削減とセットで65万円未満の人への加算、受給資格期間の短縮

【その他】

- ・制度横断的な世帯負担の上限制度
- ・短時間労働者への厚生年金健康保険の適用拡大

2011年6月3日(金)「しんぶん赤旗」



日刊 月2,900円
日曜版 月800円

2011.6.7 NO.504

日本共産党

磯城郡議員団だより

和也 Eメール info@k-shiba.jp
 西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
 吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
 (事務局)池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

「税と社会保障」の一体改革

菅内閣不信任案の騒動の裏で「税と社会保障」の一体改革を論議してきた政府の「集中検討会議」は消費税率を2015年度までに10%に引き上げる改革案をまとめ、今月下旬に政府・与党で正式に決めることが報道されている。

改革案では、パート労働者を正社員と同じ年金健康保険に加入できるように基準の改定、年金の給付引き下げを行うと共に、消費税率の引き上げを行うというものです。

消費税率引き上げについて「使途を社会保障に限定することへの懸念が広がってきている」。政府は「15年度までに」と地方の基礎的財政収支の赤字を半減する「目標がある。等を理由に挙げ、また5%幅だけの税

収増だけでは赤字国債で将来世代にツケを回す構造は解消できないと報道されている。

報告書では、消費税の持つている「逆進性」自体については「それほど大きくない」と消極的な評価を行い、税金の最大の無駄遣いである政党助成金やアメリカへの思いやり予算、大企業の法人税の引き下げなどについて触れられていないのが特徴ではないでしょうか。

三宅町の六月定例会は十日午後一時三〇分から開会されます。東日本の震災や町議会選挙後、初めての定例会で、どの様な一般質問が行われるのか問われます。時間のあては是非傍聴していただきますようよろしくお願いいたします。

三宅町
池田 年夫



お葉書有難うございまして！

先々週の議員団だよりには「やつと畑らしく...」と、書きました。すると先日、川西町のT・Tさんとという方から葉書を頂きました。とても嬉しかったので紹介させて頂きます。

「入梅、野菜作りも大変になりますね。いつも『議員団だより』を楽しみに読ませてもらっています。とくに森様は偶然にも私と同じく『野菜』を始められたとか。本格的に畑でなさっているそうですね。私はプランターと鉢です。なかなかです。が五月末にキュウリ2本獲れました。うれしくつて神棚にお供えしたあと、孫たちにプレゼントしました。(中略)それから保育にたずさわられた森様におたずねします。

『野菜の絵本』って動物に比べ数が少ないですね。これ、いいよって絵本(3才〜6才)がありましたら教えて下さい。皆様のご活躍、心から応援しています。

五月末にキュウリを収穫されるなんて、すごいですね。それから絵本の件ですが、本当に申し訳ない事です。調べに行けなかつたので、絵本に詳しい方にお聞きしましたら、「やさいのおなか」というのが、いいそうですね。

この「だより」で双方の意見交換ができるなんて、素敵なことですね。これから、皆さんからのお便りをお待ちしております。

田原本町議会議員
森 良子



川西町六月議会

二日、川西町の六月議会に向けた議会運営委員会が開かれ、日程等が組織されました。正式には、開会日の冒頭に確認される予定です。

議会は十三日の月曜日に開会し、この日は、一般質問、議案の上程、専決議案の審議と承認、議員発議としてエネルギー政策を原子力から太陽光などの自然エネルギーへの切り替えを求める意見書の採決、私が立候補した後期高齢者医療奈良県広域連合の議員選挙などが処理されます。そして、十七日の金曜日に再開し、議案の審議、討論、採決

川西町議会議員
芝 和也



蛇巻き

先の日曜日、鍵と今里で伝統行事(国指定無形民族文化財)の蛇巻きが行なわれました。久しぶりに今里の蛇巻きを見に行きました。驚いたことは、たくさんのカメラマンが「蛇」に着いて、写真を撮るとカメラマンがたくさんといわれる場所に鍵の映ってしまいました。

今里の「蛇」は、全長十八丈の雄。男子中学生が蛇頭を抱え、各家の玄関まで入って「おめでと」と大きな声をかけていました。今里全戸を門付けするそうです。練り歩いている途中、少し広い場所です。「蛇」がどくろを巻き子ども達が「蛇」

田原本町議会議員
吉田 容一

